

2023 年度（10 月入学）
鳥取大学大学院連合農学研究科（後期 3 年のみの博士課程）
外国人留学生特別入試（国費外国人留学生） 募集要項

鳥取大学大学院連合農学研究科は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科農学系専攻の修士・博士前期課程の講座と附属施設を母体として編成され、各構成大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されている。

本研究科では、農学及びその関連分野に関しての課題探求能力と豊かな学識、高度な技術を備え、科学技術の発展と地域あるいは国際社会の要請に貢献できる研究者や高度専門職業人を養成することを目的とし、(1)生産環境科学専攻、生命資源科学専攻及び国際乾燥地科学専攻の各専攻分野で必要とされる基礎知識と学力を有する人、(2)より高度な専門的知識や技術の獲得、さらにそれらを応用した独創的な研究に取り組む意欲のある人、及び(3)科学技術の発展と地域や国際社会の要請に寄与したいという強い意欲のある国費外国人留学生を下記により募集する。

鳥取大学大学院連合農学研究科のアドミッションポリシー

鳥取大学大学院連合農学研究科は、中国地方の鳥取大学、島根大学、山口大学の3大学から構成されており、平成元年に後期3年の博士課程として設立されました。

鳥取大学大学院連合農学研究科では、次のような人を広く受け入れます。

(1)生産環境科学専攻、生命資源科学専攻及び国際乾燥地科学専攻の各専攻分野で必要とされる博士前期課程相当の基礎知識と学力を有する人、(2)より高度で豊かな専門的知識・技術及び俯瞰的な広い視野の獲得、さらにそれらを応用した独創的な研究に取り組むことを志す人、(3)社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけ、科学技術の発展と地域や国際社会の要請に寄与することを志す人、及び(4)地域、国際社会が直面する問題に対処するための専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身につけ、専攻分野の研究を先導することを志す人。

連合農学研究科では、これらの人を受け入れるため、出願書類（研究計画書を含む）及び口頭試問により多角的かつ総合的な評価による選考を行います。

各専攻が求める人材像は以下のとおりです。

【生産環境科学専攻】 農林業における生産・流通・消費、農林業の生産環境、及び森林・流域環境に関わる諸問題に関心があり、これらの諸問題解決に取組みたいという強い意欲のある人。

【生命資源科学専攻】 動物、植物、菌類等が備える多様な生命機能に対して高い関心があり、その分子レベル及び遺伝子レベルでの解明と、資源としての幅広い利活用を視野に入れたバイオサイエンスに関わる先端的研究分野に挑戦したいという強い意欲のある人。

【国際乾燥地科学専攻】 世界の乾燥地における環境や食糧等に関わる諸問題に関心があり、幅広い視野と専門的知識・技術を生かして国際的に活躍したいという強い意欲のある人。

1. 専攻分野及び募集人員：

- (1) 専攻分野：生産環境科学、生命資源科学、国際乾燥地科学に関する研究分野で、鳥取大学大学院連合農学研究科の主旨導有資格教員に研究指導が受けられるものであれば、何れの分野であってもよい。
- (2) 募集人員：国費外国人留学生 1名

2. 出願資格及び条件：

- (1) 国籍：日本政府が承認する国（なお、新たに海外から留学するものであること。）
- (2) 年齢：原則として1988年4月2日以降に出生した者。
- (3) 学歴：修士の学位を取得した者及び2023年9月末日までに取得見込みの者
- (4) 健康：心身ともに大学院における学業に支障がないこと
- (5) 語学力：英語の能力を有する者として、以下のいずれかの条件を満たす者
 - ① 正規課程への入学時点で英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。
 - ② 日本の大学院修士課程・博士課程（前期）又は博士課程（後期）への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。
 - ③ ①相当以上の英語能力を有していると受入大学において判断できる者。
- (6) 渡日時期：2023年10月1日から10月7日までに必ず渡日可能な者
- (7) その他：
 - (A) 所属大学等の研究科長等以上から推薦された者
 - (B) テレビ会議システム等を用いて、口頭試問委員による口頭試問を受けることができる者
 - (C) 国費外国人留学生としての採用が決定している者

3. 出願・試験日程・合否結果：

	期 日	備 考
出 願	2023年7月28日（金）まで	希望主旨導教員を通して鳥取大学農学部連大学務係に提出すること。
試 験	2023年8月1日（火）～ 2023年8月24日（木）の間で実施する。	「5. 入学者選抜の実施方法」に定められた方法で口頭試問を行う。
合否結果	9月上旬	合格者には「合格通知書」を送付する。

4. 応募手続：

応募者は、下記の書類を出願期間中に、希望主旨導教員を通して鳥取大学農学部連大学務係に提出すること。

- (1) 入学願書（様式第1の2号） 正本1部

- (2) 写真 1 枚：入学願書に貼付。上半身・無帽・正面向・3 か月以内撮影のもの（縦 4cm×横 3cm）
- (3) 履歴書（様式第 2 号） 正本 1 部
- (4) 修士課程修了証明書又は修了見込証明書
- (5) 成績証明書：出身大学院の研究科長（又は学長）作成のもの
（様式不問、様式第 3 号でも可）
- (6) 修士論文等
 - (A) 修士課程修了者
 - (a) 修士論文の写（論文がない場合は、これに代わるもの）
 - (b) 修士論文の概要（A4 用紙に、和文の場合は 2,000 字程度、英文の場合は 1,200 語程度で記入。表紙に様式第 5 号を使用。）
 - (B) 修士課程修了見込の者
 - (a) 研究経過報告書（A4 用紙に、和文の場合は 12,000 字程度、英文の場合は 5,000 語程度で記入（図表を含む））
 - (b) 研究経過報告書の概要（(A)-(b) に準じて作成、表紙に様式第 5 号を使用。）
- (7) 研究計画書：入学後の研究分野・研究内容について A4 用紙に記入。
（表紙に様式第 6 号を使用。）
- (8) 志願理由書：本研究科を選択した動機、今後の目標や目的を A4 用紙に記入。
（表紙に様式第 7 号を使用。）
- (9) 自己評価（様式第 8 号）：連合農学研究科におけるアドミッションポリシーに対する自己評価を記述する。（日本語 800 字以内、英語 500 語以内）
- (10) TOEFL、TOEIC 又は IELTS 等の英語能力を客観的に示す成績証明書 写し 1 部
- (11) 受験承諾書（様式第 9 号）：官公庁、会社等に在職している者のみ
（所属長又は代表者の公印押印）
- (12) パスポートの写し、又は本国の戸籍謄本、又は市民権等の証明書の写し
- (13) 所属大学等の研究科長等以上の推薦書

【注意事項】

- ① 申請書類は、すべて英語によりタイプを用いて作成すること。
- ② 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、また提出期限が過ぎたものについては受理しない。
- ③ 提出書類の返却はしない。
- ④ 希望する主指導教員名を入学申請書に記入すること。入学申請書に主指導教員名の記入がない場合、出願書類は受理しない。志願者は主指導教員予定者と密接な連絡をとり、出願書類を作成すること。

5. 入学者選抜の実施方法：

- (1) 入学者選抜は、口頭試問、提出書類の評価等を総合して行う。
- (2) 口頭試問は、3 名以上（主指導教員予定者を含む各構成大学から 1 名以上）の口頭試問委

員がテレビ会議システム等を用いて対面形式により、修士論文等の内容及び研究計画書を中心に50分程度（内容説明 30分程度、質疑その他 20分程度）実施する。

- (3) 口頭試問の実施方法については、主指導教員予定者が「口頭試問実施方法届」（様式第12号）を出願時に研究科長に提出し、代議委員会において口頭試問実施方法の承認を得なければならない。

6. 入学手続等

- (1) 入学手続期間：

2023年9月12（火）～9月13日（水）合格者には後日連絡する。

- (2) 入学時に要する経費

- ① 学生教育研究災害傷害保険制度（以下「学研災」という。）：この保険は学生の正課中及び課外活動（キャンパス内）中における不慮の災害事故によって、身体に傷害を被った場合の補償制度であり、全員加入としている。保険料は、3年間分で2,600円である。
- ② 留学生用保険（タイプE）：この保険は、(1)個人賠償責任：他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合、(2)救援者費用等：ケガや病気で3日以上入院して、ご家族が駆けつけたときの交通費や宿泊費の支払いを補償、(3)生活用動産：日本で本人が所有する家財に対して火災や盗難等により損害を受けた場合の補償、(4)借家人賠償責任：日本で本人が住んでいる居室を火災や水漏れ等の偶然な事故により損壊させた場合の補償する保険である。

（学研災と異なり、補償の時間帯や場所についての限定はない）保険料（3年間）：9,270円

【注意事項】

医療費補助制度：日本の医療制度の一つに、国民健康保険制度がある。この制度は医療費の一部を負担する。居住地の市役所で国民健康保険の加入手続きをすることにより医療費の自己負担額は、治療費の30%となる。（例外有り）

7. 研究指導：

- (1) 研究指導等は主として英語で行う
- (2) 在籍身分は正規の大学院生である。学生は構成大学の教員（主指導教員1名及び副指導教員2名）により研究指導を受ける。学生は、主指導教員が専任として在籍する構成大学に配置され研究指導を受けるが、他の構成大学の施設・設備も利用することができる。

8. 注意事項：

- (1) 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (2) 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また、日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと。

【問い合わせ先】

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院連合農学研究科（農学部連大学務係）

TEL : 0857-31-5446 FAX : 0857-31-5683 E-mail : ag-rengaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

【構成大学の所在地】**鳥取大学**

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部

TEL : 0857-31-5446 FAX : 0857-31-5683

島根大学

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学生物資源科学部

TEL : 0852-32-6492 FAX : 0852-32-6499

山口大学

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部

TEL : 083-933-5800 FAX : 083-933-5820

DIRECTIONS FOR APPLICATION
FOR
THE SPECIAL ADMISSION OF MEXT SCHOLARSHIP FOREIGN STUDENTS
ADMISSION IN OCTOBER, 2023
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

The United Graduate School of Agricultural Sciences (UGSAS), Tottori University, was founded in 1989 offering an independent three-year Doctoral course. The UGSAS is organized on the bases of the three Master's Courses of Tottori, Shimane and Yamaguchi Universities, in the research facilities at the three universities. The UGSAS is operated in close alliance and cooperation with the Master's Courses of the three constituent Universities.

This graduate school aims to develop researchers and competent professionals who have the capabilities, in-depth knowledge, and advanced skills that enable them to pursue issues in agriculture and related fields, who can contribute to the development of science and technology and meet the demands of regional communities and international society. Our Graduate School seeks a Japanese Government (MEXT) scholarship foreign student, (1) who have the basic knowledge and academic ability required in each major field of Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences and Global Dryland Science; (2) who are motivated to acquire a higher level of expertise and skills and engage in original research by leveraging such expertise and skills; and (3) who are eager to contribute to the development of science and technology and the demands of regional and international communities.

The Admission Policy of the United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University was founded in 1989 as an independent three-year Doctoral Course at Tottori University. The participating universities are the graduate schools (Master's Course) of three universities, Tottori, Shimane and Yamaguchi, in the Chugoku district of Japan.

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, widely accepts people who: (1) have the basic knowledge and scholastic ability equivalent to the master's degree, which is required in each of the Courses of Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences, and Global Dryland Science; (2) seek to obtain higher and broader expertise and skills and more comprehensive viewpoints, and further desire to engage in original studies through the application of these skills; (3) seek to acquire high morality based on social responsibility, contribute to the development of science and technology, and cater to the needs of the local and international communities; and (4) seek to obtain professional and advanced capacities to identify and solve problems and communicate effectively and lead the research activities in the specialized area to deal with problems faced by the local and international communities.

In order to accept applicants who meet these requirements, the United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University will select candidates based on a multifaceted and comprehensive evaluation of application documents (including research plan) and oral examination.

Each course seeks the following qualities in students:

The Course of Bioproduction and Bioenvironmental Sciences:

A strong interest in problems in production, distribution, consumption, and production environment in agriculture and forestry, as well as in other areas related to forest and watershed environments, and the desire to solve such problems.

The Course of Bioresource and Life Sciences:

A strong interest in the diverse vital functions found in animals, plants, fungi, etc. and the desire to challenge advanced bioscience studies focusing on the identification of such vital functions at molecular and genetic levels, as well as their utilization as resources.

The Course of Global Dryland Science:

A strong interest in problems surrounding the environment and food in drylands across the world and the desire to utilize the broad viewpoint, expertise, and professional skills in international activities.

1. FIELDS OF STUDY AND NUMBER OF STUDENTS FOR ADMISSION

(1) Fields of Study:

Applications for any field of Bioproduction and Bioenvironmental Sciences, Bioresource and Life Sciences and Global Dryland Science are accepted, provided that each applicant selects a suitable academic major supervisor at UGSAS.

(2) Number of Students for admission: 1

2. QUALIFICATIONS

(1) Nationality: Applicants who are living outside of Japan at the time of application.

Applicants should be nationals from countries which have a diplomatic relation with Japan.

(2) Age: Applicants, in principle, must have been born on or after April 2, 1988.

(3) Academic career: Applicants should have or be expected to earn a master's degree by the end of September 2023.

(4) Health: Applicants should be in good mental and physical health.

(5) Language proficiency: The applicant must meet one of the following English ability requirements:

1. Have a qualification or score equivalent to level B2 or higher on an English language proficiency test defined by the CEFR at the time of enrollment.

2. Have completed the required program where the medium of instruction was English, and which satisfies the qualifications for enrollment in a master's or doctoral program at a Japanese University.

3. Have been recognized by the receiving university to have English language proficiency that is equivalent to or higher than the level in (2) 1. above

(6) Arrival in Japan: A successful applicant who enrolls in classes in October 2023 must arrive in Japan between October 1 and 7, 2023.

(7) Note:

(A) Applicants must have a recommendation from the dean of the faculty (or someone higher in position) of the university or institution.

(B) Applicants must be available for an interview with the members of the oral examination committee via videoconference or other means to take an oral examination.

(C) Applicants must be selected as a MEXT scholarship student

3. APPLICATION FOR ADMISSION, EXAMINATION SCHEDULE, AND ADMISSION DECISIONS

	Deadline	Remarks
Application	By July 28 (Fri.), 2023	Submit the application through the desired major supervisor to the UGSAS.
Examination	An oral exam will be scheduled sometime between August 1st (Tue.), 2023 and August 24 (Thur.), 2023	An oral exam will be conducted as specified in Section "5. Procedure for the Selection of Graduate Students."
Admission Decisions	At the beginning of September	An acceptance letter will be mailed to a successful applicant.

4. APPLICATION PROCEDURE

An applicant should submit the following documents through the desired major supervisor during an application period. Applications directly mailed to UGSAS are not accepted.

Documents:

- (1) Application Form (Use Form No. 1-2)
- (2) Photograph: One photograph (4 cm x 3 cm) should be pasted on the application form. Photograph should be taken from the front, from the chest up, bare-headed, and taken within the last three months.
- (3) Curriculum Vitae (Use Form No. 2)
- (4) A certificate for the master's degree or a certificate issued by the applicant's graduate school indicating that the applicant will be receiving or has received a master's degree by the end of September 2023.
- (5) Academic transcript: must be written by the dean of the applicant's graduate school (Form No. 3 can be used).
- (6) Master's Thesis
 - (A) Applicants who have completed a master's course:
 - (a) A copy of the master's thesis or published manuscript equivalent to the thesis.
 - (b) A summary of the master's thesis in English (about 1,200 words). Use A4 paper and attach a cover sheet (Form No. 5).
 - (B) Applicants who anticipate receiving a master's degree:
 - (a) Describe your research program in English (A4 size, about 5,000 words). This report may include tables and figures.
 - (b) A summary of the research program in English; details are the same as in ((A)-(b))
- (7) Research Proposal: Describe your research proposal (goal, objectives, experimental design). Use A4 paper and attach a cover sheet (Form No. 6)
- (8) Letter of Application: Describe why you chose our graduate course and state your future goals. Use A4 paper and attach a cover sheet (Form No. 7)
- (9) Short essay on Self-assessment (Use Form No. 8): Describe your self-assessment of the Admission Policy of the United Graduate School of Agricultural Sciences in about 500 words.
- (10) One copy of the record showing English ability such as TOEFL, TOEIC or IELTS objectively
- (11) Letter of Permission for Application (Use Form No. 9): If you are working for a public or private institution, arrange a letter of permission from your supervisor at your place of employment.
- (12) Copy of passport or Certificate of citizenship issued by the applicant's municipal authority.
- (13) Recommendation Letter from the President of the University or Dean of the Faculty.

Notes:

- ① These documents should be either typewritten or printed in English.
- ② Applications will not be accepted unless all documents are fully and correctly completed and delivered by the due dates.
- ③ None of the documents submitted will be returned to the applicants.
- ④ Each applicant should select a professor as the prospective major supervisor and contact the professor when preparing the application documents. Any application without nominating a professor as the major supervisor will not be accepted.

5. PROCEDURE FOR THE SELECTION OF GRADUATE STUDENTS

- (1) Graduate students will be selected through a comprehensive evaluation of the oral examination, the documents submitted, and other elements.
- (2) During an interview for the oral exam conducted via videoconference, at least three members of the oral exam committee (who are one or more faculty members of each of the constituent universities and which include the prospective major supervisor) will spend about 50 minutes reviewing the master's thesis and the research proposal (roughly 30 minutes for the description of the master's thesis and the research proposal and 20 minutes for questions and answers).
- (3) The method of the oral exam is subject to approval by the board of representatives following the submission of the Notice of the Method of the Oral Exam (Form No. 12) by the prospective major supervisor to the dean of the faculty.

6. ADMISSION PROCEDURES, ETC.

- (1) Period of Admission Procedures: from September 12 (Tue) to September 13(Wed), 2023.

A successful applicant will be notified of the period at a later date.

(2) Fees on entrance

- ① Personal accident insurance for students pursuing education and research (Hereafter "Gakkensai"): This insurance compensates for physical injuries suffered students in their intra-curricular activities both on and off campus, and extra-curricular activities on campus. All students enrolled have to pay the premium of 2,600 yen for three years.
- ② Insurance for International Students (Type E) : This insurance covers (1) Personal compensation responsibility : in case of causing injury to another person or damaging the property of others, (2) Rescuer expenses, etc. : compensate for the payment of transportation and accommodation expenses in case family members come to Japan to support the insured if he/she is hospitalized due to injury or illness for more than 3 days. (3) Movable property for daily use : in case of incurs a damage because his household goods are subject to fire or robbery in Japan. (4) Tenant Liability : in case of causing damage to a rented room due to an accident involving fire or water leakage in Japan. (Unlike "Gakkensai", there is no restriction on time and place) All International students enrolled have to pay the insurance premiums (3 years): 9,270 yen

[Additional Benefits]

The National Health Insurance scheme is a fundamental part of Japan's medical care system. It is designed to cover a portion of the medical expenses incurred by citizens.

To apply for National Health Insurance, go to your local municipal government offices and follow the required procedures as instructed. After joining the scheme, you will only be responsible for paying 30% of any medical expenses you incur. (Exceptions apply in some cases.)

7. EDUCATION

The successful applicant will be enrolled as full-time graduate students and under supervision and instruction in English. Each student is supervised by faculty members of the three constituent Universities with a professor as a major supervisor and two professors as sub-supervisors. Although each student studies at a constituent University where the major supervisor resides, the student can use the training and research facilities at the other two constituent Universities.

8. NOTE

- (1) If false statements were made in the application dossiers, admission shall be rejected even after having been accepted by the United Graduate School.
- (2) With enrollment, new students are advised to become well informed about the Japanese climate, customs, manners, and other cultural aspects in general before coming to Japan. It is strongly advised that they study the Japanese language. Knowledge of the Japanese language is very helpful to newcomers to Japan.

More detailed information and all correspondence about this program is available from the following:

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University
4-101, Koyama-Minami, Tottori, 680-8553, Japan
Tel: +81-857-31-5446 Fax: +81-857-31-5683 (81 is the international code for Japan)
E-mail: ag-rengaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

Address of Constituent Universities:

*Tottori University

Faculty of Agriculture, Tottori University, 4-101, Koyama-Minami, Tottori, 680-8553, Japan
Tel: +81-857-31-5446 Fax: +81-857-31-5683 (81 is the international code for Japan)

*Shimane University

Graduate School of Natural Science and Technology, Shimane University, 1060, Nishikawatsu, Matsue, 690-8504, Japan
Tel: +81-852-32-6492 Fax: +81-852-32-6499 (81 is the international code for Japan)

*Yamaguchi University

Faculty of Agriculture, Yamaguchi University, 1677-1, Yoshida, Yamaguchi, 753-8515 Japan
Tel: +81-83-933-5800 Fax: +81-83-933-5820 (81 is the international code for Japan)

主指導教員となり得る者の教育研究分野一覧

1. 生産環境科学専攻

(1) 農業生産学連合講座

荒木 英樹 (山口)	栽培学	不良環境下における作物の生産機能とその栽培学的応用
小林 伸雄 (島根)	園芸育種学	植物遺伝資源の評価と育種利用
高橋 肇 (山口)	作物学	作物の省力・低投入型栽培体系の確立に関する研究
竹村 圭弘 (鳥取)	園芸生産学	園芸作物の栽培生理に関する研究
田中 裕之 (鳥取)	植物遺伝学	小麦粉品質の改良に関する遺伝育種学的研究
鶴永 陽子 (島根)	食品加工学	食品加工における製造方法と機能性に関する研究
中務 明 (島根)	園芸分子育種学	園芸作物における有用形質関連遺伝子の解析と育種利用
野波 和好 (鳥取)	農業生産工学	農作業の機械化に関する研究
松本 真悟 (島根)	土壌・作物栄養学	土壌肥沃度に対応した作物の養分獲得機構の解明
松本 敏一 (島根)	果樹園芸学	果樹栽培と加工品に関する研究
谷野 章 (島根)	生物環境電気工学	生物環境関連技術への電気工学の適用

(2) 経済・経営学連合講座

種市 豊 (山口)	農業市場学	農産物・農業資材の流通に関する研究
筒井 一伸 (鳥取)	農村地理学	農山村の地域経済と地域づくりに関する研究
松田 敏信 (鳥取)	消費者行動学	計量経済学による消費者行動の研究、特に食料需要の実証分析
松村 一善 (鳥取)	農業経営学	農業経営と農村社会の相互関係に関する研究
万 里 (鳥取)	流通情報解析学	農産物の流通経路と市場情報の計量経済分析
保永 展利 (島根)	地域経済学	条件不利地域の農地、地域社会、経済の持続性に関する研究
安延 久美 (鳥取)	国際農業開発学	東南アジアにおける農業・農村開発に関する研究

(3) 森林・流域環境科学連合講座

石井 将幸 (島根)	地域基盤工学	水利施設の補修補強に関する設計手法の開発
久保満佐子 (島根)	植物生態学	植物の生態および植生、保全に関する研究
永松 大 (鳥取)	植物生態学	森林・草原の植物個体群動態と植生科学、生物多様性保全
藤本 高明 (鳥取)	木材理学	木材性質変動の解析および計測評価手法の開発
吉村 哲彦 (島根)	森林利用学	森林利用・木材収穫における社会的・技術的諸課題に関する研究

(4) 環境生物学連合講座

荒西 太士 (島根)	保全生態学	水域生物圏の保全遺伝学と進化生態学
上野 誠 (島根)	植物病理学	植物-病原菌の相互作用における抵抗性発現に関する研究
上中 弘典 (鳥取)	植物微生物相互作用学	植物における免疫応答と菌根共生の分子機構の解明
唐澤 重考 (鳥取)	多様性生物学	無脊椎動物の遺伝子・種多様性に関する研究
木原 淳一 (島根)	植物病理学	植物病原糸状菌の光環境応答
児玉基一朗 (鳥取)	植物病理学	植物-微生物相互作用と植物耐病性の分子機構
竹松 葉子 (山口)	昆虫生態学	シロアリの多様性と生態に関する研究
宮永 龍一 (島根)	昆虫生態学	野生ハナバチ類の生態と管理に関する研究
山口 啓子 (島根)	水圏生態学	ベントスを中心とした生物の生態と水圏環境に関する研究

2. 生命資源科学専攻

(1) 菌類・きのこ科学連合講座

會見 忠則 (鳥取)	微生物生産科学	微生物による食料及び有用物質生産の生化学・分子生物学
------------	---------	----------------------------

霜村 典宏 (鳥取) 菌類育種栽培学
早乙女 梢 (鳥取) 菌類系統分類学

きこの類遺伝資源の育種・栽培に関する研究
きこの類の系統分類と木材腐朽性担子菌の生態に関する研究

(2) 生物機能科学連合講座

有馬 二郎 (鳥取) 生命機能化学
石川 孝博 (島根) 植物分子生理学
岩崎 崇 (鳥取) 生体制御化学
塩月 孝博 (島根) 生物制御化学
松尾 安浩 (島根) 微生物遺伝学
丸田 隆典 (島根) 植物生理学

微生物・酵素の新奇機能探索とメカニズムの解明、及びその利用
光合成生物における抗酸化物質生成と活性酸素代謝機構
生体機能を制御する生理活性物質の探索および開発に関する研究
昆虫を主な対象とする生物制御の分子機構解明と化学生物学的应用
分裂酵母のシグナル伝達経路による細胞周期の制御機構
植物のレドックス代謝ネットワークとストレス応答

(3) 資源利用化学連合講座

阿座上弘行 (山口) 分子微生物学
石原 亨 (鳥取) 天然物化学
一柳 剛 (鳥取) 有機化学
河野 強 (鳥取) 生物有機化学
清水 英寿 (島根) 栄養病態生理学

田村 純一 (鳥取) 有機化学
室田佳恵子 (島根) 食品代謝機能学
藪田 行哲 (鳥取) 栄養科学
山本 達之 (島根) 生命分子分光学

バクテリアの宿主表面への定着の分子メカニズム
植物・微生物が合成する代謝産物の機能、生理活性、生成に関する研究
合成化学的アプローチによる生物活性化合物の機能解明
環境応答による休眠・代謝・寿命の制御機構
食品由来腸内細菌代謝産物や藍藻類由来毒素による病態発症メカニズムの解明
生理活性糖鎖の化学合成と天然糖鎖の単離・構造決定
脂溶性食品成分の生体利用性と機能性に関する研究
抗酸化ビタミンの機能と酸化ストレス応答に関する研究
分子分光学の生命科学や医療への応用

3. 国際乾燥地科学専攻

(1) 国際乾燥地科学連合講座

明石 欣也 (鳥取) 分子細胞生物学
Nigussie Haregeweyn
AYEHU (鳥取) 土地管理
安 萍 (鳥取) 植物生理生態学
一戸 俊義 (島根) 家畜飼養学
猪迫 耕二 (鳥取) 水土環境保全学
荊木 康臣 (山口) 生物環境調節工学
遠藤 常嘉 (鳥取) 土壌化学
緒方 英彦 (鳥取) 水利施設工学
※岸井 正浩 (鳥取) 植物遺伝資源開発学
衣笠 利彦 (鳥取) 乾燥地緑化保全学
木村 玲二 (鳥取) 境界層気象学
黒崎 泰典 (鳥取) 乾燥地気候学
清水 克之 (鳥取) 水利用学
鈴木 賢士 (山口) 気象学
田川公太郎 (鳥取) 自然エネルギー工学
谷口 武士 (鳥取) 微生物生態学
恒川 篤史 (鳥取) 保全情報学
坪 充 (鳥取)
TODERICH Kristina
Nikolaevna (鳥取) 気候リスク管理学
乾燥地塩害及び
景観復元学
西原 英治 (鳥取) 乾燥地作物栽培学
兵頭 正浩 (鳥取) 施設環境材料学

耐乾性植物のストレス分子応答および環境耐性植物の分子育種
流域プロセスのモニタリング、モデリング及び管理に関する研究
乾燥地における植物の生理的応答と機構および生態学に関する研究
反すう家畜の栄養と生産システムの評価
水土環境の保全と再生ならびに持続可能な利用に関する研究
環境制御型植物生産システムに関する研究
乾燥地域における灌漑農地の塩類動態と土壌劣化に関する研究
水利構造物の建設材料と構造性能の評価
環境耐性が高い植物遺伝資源の育種への活用研究
乾燥・半乾燥草原に生育する植物の生態学および生態生理学
乾燥地における熱収支・水収支の解明に関する研究
乾燥地における気候変動、風食、ダスト発生、ダストの気候影響
農業用水管理のモニタリングと評価
降水メカニズム解明のための観測研究と降水粒子測定手法の開発
自然エネルギー利用技術の開発と最適システム設計に関する研究
土壌および植物根圏微生物の生態と利用
乾燥地における植物生産および生態系変化のモニタリングとモデリング
乾燥地における農業気象と気候変動対応型農業
乾燥地の塩害および塩生植物・非従来型作物を利用した景観復元
乾燥地を含む地域における作物栽培体系の構築に関する研究
農業水利施設の維持管理と環境を考慮した材料に関する研究

藤巻 晴行 (鳥取)	土壌保全学	乾燥地における塩類集積および土壌浸食の防止と修復技術の開発
増永 二之 (島根)	土壌圏生態工学	土壌の環境維持・修復機能および植物生産機能の制御と利用
山田 智 (鳥取)	植物栄養学	乾燥地における植物のストレス応答機構に関する研究
山本 定博 (鳥取)	環境土壌学	乾燥地における土壌環境の保全と農耕地の持続的利用に関する研究

List of Major Supervisors and their Research Interests

The United Graduate School of Agricultural Sciences offers doctoral programs in the following three major courses : Bioproduction and Bioenvironmental Sciences ; Bioresource and Life Sciences and Global Dryland Science. Each course contains one to four Divisions ; and each Division offers basic and applied research programs. Faculty members (Professors and Associate Professors who serve as Major Supervisors) and their active research programs are listed below.

1. THE COURSE OF BIOPRODUCTION AND BIOENVIRONMENTAL SCIENCES

(a) Division of Agricultural Production Science

ARAKI Hideki (Y)	Agronomy	Function of plant production under environmental stresses and its agronomical application
KOBAYASHI Nobuo (S)	Horticultural Breeding	Evaluation of plant genetic resources and applications for breeding
TAKAHASHI Tadashi (Y)	Crop Science	Establishment of low-cost and low-input crop cultivation systems
TAKEMURA Yoshihiro (T)	Horticultural Science	Studies on the crop ecophysiology in horticultural crops
TANAKA Hiroyuki (T)	Plant Genetics	Genetic and breeding studies on improving quality of wheat flour
TSURUNAGA Yoko (S)	Food Processing	Studies on manufacturing method and functionality in food processing
NAKATSUKA Akira (S)	Molecular Breeding of Horticultural Crop	Molecular breeding for agriculturally useful traits in horticulture crops
NONAMI Kazuyoshi (T)	Agricultural Production Engineering	Mechanization of agricultural work
MATSUMOTO Shingo (S)	Biochemistry of Soil and Plant Nutrition	Studies on the mechanism of plant nutrient acquisition in relation to soil fertility
MATSUMOTO Toshikazu (S)	Fruit Science	Studies on fruit growing and processed food
YANO Akira (S)	Bioenvironmental Electrical Engineering	Application of electrical engineering to bioenvironmental technologies

(b) Division of Managerial Economics

TANEICHI Yutaka (Y)	Agricultural Marketing	Study on distribution of agricultural products and agricultural materials
TSUTSUI Kazunobu (T)	Rural Geography	Studies on regional economy and community development in Rural areas
MATSUDA Toshinobu (T)	Economics of Consumer Behavior	Empirical analysis of consumer behavior, especially food demand
MATSUMURA Ichizen (T)	Farm Management	Studies on the relationship between farm management and rural society
WAN Li (T)	Marketing Information Analytics	Agricultural products distribution channels and econometric analysis of market information
YASUNAGA Nobuyoshi(S)	Regional Economics	Sustainability of farmlands, communities, and economies in less favored areas
YASUNOBU Kumi (T)	International Agricultural Development Studies	Agricultural and rural development in Southeast Asia

(c) Division of Forest and Watershed Environmental Sciences

ISHII Masayuki (S)	Regional Infrastructure Engineering	Development of designing method for renovation of irrigation facilities
KUBO Masako(S)	Plant Ecology	Plant ecology, vegetation and conservation
NAGAMATSU Dai (T)	Plant Ecology	Population dynamics of forest and grassland, vegetation science and biodiversity conservation.
FUJIMOTO Takaaki (T)	Wood Physics	Analysis of wood property variation, and development of measurement techniques
YOSHIMURA Tetsuhiko (S)	Forest Utilization	Social and technological issues in forest utilization and wood harvesting

(d) Division of Environmental Bioscience

ARANISHI Futoshi(S)	Conservation ecology	Conservation genetics and evolutionary ecology of hydrobiosphere
UENO Makoto (S)	Plant Pathology	Studies on the expression of resistance in plant-microbe interaction
KAMINAKA Hironori (T)	Plant-Microbe Interactions	Molecular mechanisms of immune response and mycorrhizal symbiosis in plants
KARASAWA Shigenori (T)	Biodiversity	Genetic diversity and species diversity of invertebrates
KIHARA Junichi (S)	Plant Pathology	Photoresponses of the phytopathogenic fungi
KODAMA Motoichiro (T)	Plant Pathology	Molecular mechanisms in plant-microbe interactions and plant disease resistance
TAKEMATSU Yoko (Y)	Ecological Entomology	Biodiversity and ecology of termites
MIYANAGA Ryoichi (S)	Insect Ecology	Biology and management of wild bees
YAMAGUCHI Keiko (S)	Aquatic Ecology	Studies on ecology of benthic animals and aquatic environments

2. THE COURSE OF BIORESOURCE AND LIFE SCIENCES

(a) Division of Fungus and Mushroom Sciences

AIMI Tadanori (T)	Biochemical Technology of Microorganisms	Biochemistry, molecular biology and biotechnology of microbial production
SHIMOMURA Norihiro (T)	Mushroom Breeding and Cultivation	Studies on breeding and cultivation of mushroom resources
SOTOME Kozue (T)	Mushroom Phylogeny and Taxonomy	Phylogenetic taxonomy of mushrooms, and ecological researches of wood-decaying basidiomycetes.

(b) Division of Bioscience and Biotechnology

ARIMA Jiro (T)	Bio-Functional Chemistry	Functional analysis of enzymes and microorganisms, and their application to industry
ISHIKAWA Takahiro (S)	Plant Molecular Physiology	Biosynthesis pathway of antioxidants and metabolism of reactive oxygen species in photosynthetic organisms
IWASAKI Takashi (T)	Bioregulatory Chemistry	Development and screening of bioactive substances regulating biological function

SHIOTSUKI Takahiro (S)	Insect Chemical Biology and Agrobio-Regulators	Chemical biology and molecular mechanisms in regulation of insect development and their applications
MATSUO Yasuhiro (S)	Microbial Genetics	Cell signaling and cell cycle control in fission yeast
MARUTA Takanori (S)	Plant Physiology	Redox metabolism network and stress response in plants

(c) Division of Applied Bioresource Chemistry

AZAKAMI Hiroyuki (Y)	Molecular Microbiology	Molecular mechanisms of bacterial colonization to host surface
ISHIHARA Atsushi (T)	Natural Product Chemistry	Function, Biological activity, and Biosynthesis of metabolites produced by plants and microorganisms
ICHIYANAGI Tsuyoshi (T)	Organic Chemistry	The molecular design and functional analysis of bioactive compounds
KAWANO Tsuyoshi (T)	Bioorganic Chemistry	Regulation of diapause, metabolism and longevity corresponding to the growth environment
SHIMIZU Hidehisa (S)	Nutritional Pathophysiology	Study on the relationship between food-derived bacterial metabolites or cyanobacteria-derived toxins, and pathogenesis of diseases
TAMURA Jun-ichi (T)	Organic Chemistry	Chemical synthesis of bioactive glycans and isolation/characterization of natural glycans
MUROTA Kaeko (S)	Bioavailability and Food Function	Bioavailability and physiological function of lipophilic food factors
YABUTA Yukinori (T)	Nutritional Science	Studies on the function of antioxidant vitamins and oxidative stress response
YAMAMOTO Tatsuyuki (S)	Bio-molecular Spectroscopy	Spectroscopic studies on life science and medical applications

3. THE COURSE OF GLOBAL DRYLAND SCIENCE

(a) Division of Global Dryland Science

AKASHI Kinya (T)	Molecular and Cellular Biology	Molecular responses of drought-tolerant plants and their application to molecular breeding
AYEHU Nigussie Haregeweyn (T)	Land Management	Watershed processes monitoring, modeling and management
AN Ping (T)	Plant Eco-Physiology	Physiological responses and relative mechanisms of plants and plant ecophysiology in dry lands.
ICHINOHE Toshiyoshi (S)	Livestock Feeding	Evaluation of ruminants production system
INOSAKO Koji (T)	Soil and Water Management	Conservation, restoration and sustainable use of soil and water environment
IBARAKI Yasuomi (Y)	Bio-environmental Control Engineering	Environmental control in plant production
ENDO Tsuneyoshi (T)	Soil Chemistry	Influence of soil properties and irrigation water quality on soil salinization/sodicitation in irrigated farmlands of arid regions
OGATA Hidehiko (T)	Irrigation and Drainage Facilities Engineering	Evaluation of construction materials and structural performance of irrigation and drainage structures
KISHII Masahiro (T)*	Plant Genetic Resource Development	Research and utilization of plant genetic resources with high environmental tolerance for breeding
KINUGASA Toshihiko (T)	Dryland Restoration and Conservation Ecology	Ecology and ecophysiology of plants in arid and semi-arid grasslands

KIMURA Reiji (T)	Boundary Layer Meteorology	Heat and water balance in arid lands
KUROSAKI Yasunori (T)	Dryland Climatology	Climate change and variability, wind erosion, dust emission in drylands, and impacts of aeolian dust on climate
SHIMIZU Katsuyuki (T)	Water Use and Management	Monitoring and assessment of irrigation water management
SUZUKI Kenji (Y)	Meteorology	Observational study on precipitation mechanisms and development of instruments for hydrometeor measurements
TAGAWA Kotaro (T)	Renewable Energy Engineering	Technological development and optimal design of renewable energy systems and components
TANIGUCHI Takeshi (T)	Microbial Ecology	Soil and root microbial ecology and the application
TSUNEKAWA Atsushi (T)	Conservation Informatics	Monitoring and modeling of plant production and ecosystem change in drylands
TSUBO Mitsuru (T)	Climate Risk Management	Dryland agrometeorology and climate-smart agriculture
TODERICH Kristina Nikolaevna (T)	Dryland Salinity and Landscape Restoration	Salinization in drylands and restoration of affected landscape using halophytes and non-conventional crops
NISHIHARA Eiji (T)	Crop Production in Drylands	Construction of crop production system in areas including drylands
HYODO Masahiro (T)	Facilities and Environmental Materials	Rehabilitation management of agricultural irrigation facilities and development of environmental materials
FUJIMAKI Haruyuki (T)	Soil Conservation	Development of methods for preventing salt accumulation and erosion and remediation of degraded soils
MASUNAGA Tsugiyuki (S)	Pedosphere Ecological Engineering	Control and use of soil functions of environmental protection-restoration and plant production
YAMADA Satoshi (T)	Plant Nutrition	Mechanisms of Response to Stresses of Plants in Arid Regions
YAMAMOTO Sadahiro (T)	Environmental Soil Science	Conservation of soil environment and sustainable use of farmland in arid regions

Abbreviations; T : Tottori University, S : Shimane University, Y : Yamaguchi University.

* ; Cooperation with Japan International Research Center for Agricultural Sciences

★ 入学志願者は、主指導教員予定者に必ずこの届の記載を依頼すること。
Request your preferred major supervisor to fill in this form.

(外国人留学生特別入試 (国費外国人留学生))

この届の主指導教員、第一副指導教員及び第二副指導教員予定者は、入試委員となり、入学者選抜の口頭試問実施に携わっていただきますので周知願います。

また、当該志願者が入学した場合は副指導教員の発令を行いますので、副指導教員予定者の承諾を得て、厳封のうえ、出願書類と一緒に鳥取大学農学部連大学務係に郵送又は使送により提出願います。

年 月 日

連 合 農 学 研 究 科 長 殿

主指導教員予定者

氏 名 _____

2023 年度鳥取大学大学院連合農学研究科
志 願 者 の 指 導 教 員 予 定 者 届

志願者 _____ の指導教員等を下記のように予定しますのでお届けします。

記

主 指 導 教 員 名 _____ (大学)

第 一 副 指 導 教 員 名 _____ (大学)

第 二 副 指 導 教 員 名 _____ (大学)

補 助 教 員 名 _____ (大学)

(注) 副指導教員を予定するにあたっては、裏面の「連合農学研究科指導教員等の任用についての原則」を必ず参照願います。

連合農学研究科指導教員等の任用についての原則

平成元年11月1日
代議委員会

(最終改正日 令和4年5月13日)

平成元年4月1日付で構成大学人事課の申し合せとして定めた「連合農学研究科の担当発令及び担当教員に係る俸給の調整額の取り扱い並びにこれらに係る事務手続きについて」の記第1「研究科の担当発令」に基づく指導教員等の任用については当分の間、下記の原則によることとする。

1. 指導教員任用の原則

- (1) 指導教員は、代議委員会で選定し研究科委員会の承認を得て指名する。
- (2) 主指導教員は、学生の志望を考慮して決定する。
- (3) 副指導教員のうち1人は、主指導教員の属する大学の教員をもって充て、他の1人は、主指導教員の属する大学以外の構成大学（以下「他の構成大学」という。）の教員で主指導教員になり得る教員をもって充てる。
- (4) 副指導教員は、主指導教員が研究指導上必要と認めた場合は、専攻を超えて充てることができる。

2. 指導教員を補助する教員の任用の原則

- (1) 指導教員を補助する教員（以下「補助教員」という。）は、学生1人につき1人まで配置できるものとする。
- (2) 補助教員は、主指導教員の属する大学の助教又は主指導教員と日常的に接触が保たれる状態にある他の構成大学の助教の中から、代議委員会で選定し研究科委員会の承認を得て指名する。
ただし、指導教員として担当発令した助教は、補助教員を兼ねることはできない。

2023年度 2023

鳥取大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences

Tottori University

博士課程入学願書

APPLICATION FOR ADMISSION

ふりがな 氏名 Name (in print) and Signature			性別 Sex	受験番号 Examinee No. ※
			男・女 M・F	
国籍 Nationality		生年月日 Date of Birth	年齢 Age ()	写真 Photo 4cm×3cm
現住所 Present Address	〒 電話 Tel			
合格通知等の連絡先 Mailing Address	〒 電話 Tel			
出身大学 Alma Mater	大学 Course:	学部 University:	学科 Date of Graduation	卒業年月 Date of Completion or Expected Completion
	大学大学院 修士課程 Master's Course: University:	研究科 専攻	修了・修了見込年月 Date of Completion or Expected Completion	
修士論文(又はこれに代わる論文)題目 Title of Master's Thesis (or Equivalent)	指導教員名 Name of Supervisor			
志望専攻名 Preferred Course			希望する主指導教員氏名 Name of Preferred Major Supervisor	
志望連合講座 Preferred Division				
希望入学年月 Preferred Admission Date ※Indicate by encircling	(1) 2023年4月入学 April, 2023		(2) 2023年10月入学 October, 2023	

記入時の注意事項 Notes

- 希望する主指導教員を選ぶにあたっては、別表の「主指導教員となり得る者の教育・研究分野一覧」の主指導教員氏名を記入すること。
Select a professor as a Major Supervisor from the provided List of Major Supervisors and their Research Interests.

履 歴 書

CURRICULUM VITAE

現 住 所 Present Address	〒	国 籍 Nationality	
ふりがな 氏 名 Name (print)		生年月日 Date of Birth	年 齡 Age ()
学 歴 (高 校 以 上) Education since High School in Chronological Order *	年 月 日 Date (Day/Month/Year)	事 項 Name of School	
職 歴 History of Employment	年 月 日 Date (Day/Month/Year)	事 項 Job Title and Name of Employer	
賞 罰、資 格 等 Qualifications and licenses	年 月 日 Date (Day/Month/Year)	事 項 Subject	
<p>上記のとおり相違ありません。 I hereby certify the above statements to be true and correct in every detail.</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">Date:</p> <p style="text-align: center;">氏名 Name (print):</p> <p style="text-align: center;">Signature:</p> <p style="text-align: right;">印</p>			

注意：現在の所属（身分）を学歴欄の最後に必ず記入すること。
* Note: Your present position or title must be clarified in the last line.

(様式第3号)

成績証明書 (大学院修士課程)

ふりがな		男・女	現住所						
氏名			出身大学院	国立	大学大学院	研究科	年 月入学		
生年月日	年 月 日生			公立		専攻	年 月 修了・修了見込		
学 習 成 績									
授 業 科 目 名			単位数	評価	授 業 科 目 名			単位数	評価
科 目									
評価基準	点～ 点			点～ 点			点～ 点		

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

年 月 日

所在地

研究科名

学長(研究科長)名

記載責任者名

職印

(Form No. 3)

EVALUATION (MASTER'S COURSE)

Name (print):

Sex (M • F)

Alma Mater Graduate School:

University:

Date of Completion or Expected Completion:

Temporary Absence from School (period and reason):

Title of Master's Thesis:

Comments on the results of the Thesis:

Supervisor's Name (print):

Signature:

ACADEMIC RECORD

(Append additional sheets, if more space is needed.)

I hereby certify that the above items are correct.

Date:

Name of School:

Location:

Name (print) of President or Dean:

Signature:

修 士 論 文 概 要
SUMMARY OF MASTER'S THESIS

研 究 経 過 概 要
SUMMARY OF RESEARCH PROGRAM

修士学位相当の論文概要
SUMMARY OF MANUSCRIPT EQUIVALENT TO MASTER'S THESIS

受 験 番 号 Examinee No.	*
ふ り が な 氏 名 Name (print)	
志 望 専 攻 名 Preferred Course	
志 望 連 合 講 座 Preferred Division	

*この欄は記入しないこと。

*Leave blank.

(注意) 1. これは各概要の表紙です。それぞれの概要の最上部にこの表紙を使用すること。

(Notes) This form is the cover sheet for each summary.

2. この表紙は複写して充当すること。

Make copies of this cover sheet, as needed.

3. 該当する表題を残し、不要の項目は2重線で抹消すること。

Erase unnecessary titles, leaving only the appropriate title.

4. A4版の用紙(横書き)を使用し、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度で記載すること。

Use A4 paper and give each of the summaries in English (in about 1,200 words).

鳥取大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

研 究 計 画 書
RESEARCH PROPOSAL

受 験 番 号 Examinee No.	*
ふ り が な 氏 名 Name (print)	
志 望 専 攻 名 Preferred Course	
志 望 連 合 講 座 Preferred Division	
希 望 す る 主 指 導 教 員 氏 名 Name of Preferred Major Supervisor	(大学 Univ.)

*この欄は記入しないこと。
*Leave blank.

(注意) 1. これは研究計画書の表紙です。

(Notes) This form is the cover sheet for the research proposal.

2. 研究計画書は「どのような分野でどのような内容のことを研究しようとしているのか。」がわかるように記載すること。

Describe your research proposal by clarifying the content of your research.

3. A 4 版の用紙（横書き）を使用し、和文の場合は 2,000 字程度、英文の場合は 1,200 語程度で記載すること。

Use A4 paper and give the summary in English (in about 1,200 words).

鳥取大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

志 願 理 由 書
LETTER OF APPLICATION

受 験 番 号 Examinee No.	*
ふ り が な 氏 名 Name (print)	

*この欄は記入しないこと。
*Leave blank.

(注意) 1. これは志願理由書の表紙です。

(Notes) This is the cover sheet of your letter of application.

2. 志願の動機と目的を A 4 版の用紙 (横書き) を使用し、和文の場合は 2,000 字程度、英文の場合は 1,200 語程度で記載すること。

Use A4 paper and summarize your motivation for and purpose of application in English (in about 1,200 words).

鳥取大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

(様式第 8 号)

(Form No.8)

自己評価 SELF-ASSESSMENT

受 験 番 号 Examinee No.	*
ふ り が な 氏 名 Name (print)	

*この欄は記入しないこと。

*Leave blank.

(注意) 連合農学研究科の入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) に対する自己評価を記述してください。(日本語 800 字以内、英語 500 語以内)

(Notes) Describe your self-assessment of the Admission Policy of the United Graduate School of Agricultural Sciences in English (in about 500 words).

鳥取大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

(様式第9号)
(Form No. 9)

受験承諾書

LETTER OF PERMISSION FOR APPLICATION

鳥取大学大学院連合農学研究科長 殿

To the Dean of the United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

氏名

Name (print)

生年月日 年 月 日生

Date of Birth

上記の者が、 年度鳥取大学大学院連合農学研究科（後期3年みの博士課程）の入学試験を受験することを承諾します。

I hereby permit _____ to apply for admission to the Doctoral Course of the
(Name of Applicant)
United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University.

年 月 日

Date:

機関等名

Name of the Office or Company:

所在地

Address:

電話

Phone:

所属長又は代表者氏名

Name (print) of Representative:

Signature:

職印
印